

Topic of town

まちの話題



北上

地域の魅力がまでに、発信 北上観光物産交流センターリニューアル



北上町十三浜の北上観光物産交流センターの指定管理者が交替し、5月2日にリニューアルオープンしました。ワカメやメカブをはじめとした地場製品の取り扱いを増やしており、季節の花苗や特産化を目指すオリーブのオイルも販売しています。この場で、ジェラートやコーヒーも味わえます。4月から指定管理者となった一般社団法人ウィーアワン北上の佐藤尚美代表理事は「生産者と消費者をつなぐ場所にしたい」と語り、地域に「までに、育まれてきた食文化を発信していくことにしています。



牡鹿

海に入って豪快「暴れみこし」

担ぎ手集まり雷神宮祭

網地島の長渡浜で4月26日に「雷神宮祭」が行われ、大漁や海上安全を祈願するみこしが集落を練り歩きました。「チョーサイ、チョーサイ」と掛け声を響かせ、みこしを担いだまま海に入る豪快な「暴れみこし」が最大の見どころです。集落の人口が減っている中、島の出身者や移住者らが集まって祭りを盛り上げ、小中学生のみこしも巡行しました。手だけで描く墨絵師・荒川颯さんによる実演もありました。



石巻

夜桜見物でにぎわう

日和山公園ライトアップ

日和山公園は今年、4月7～19日が観桜期間となり、10～12日と17～19日の各週末には恒例の夜間ライトアップを行いました。約400本のソメイヨシノなどがほぼ満開となった4月11日は、強風にもかかわらず多くの方が夜桜見物に訪れていました。風をよけるようにレジャーシートを広げて料理を囲むグループがあったほか、幻想的な桜にスマートフォンを向けて思い出に刻む人の姿がありました。



河北

折り紙でお弁当づくり

親子でワークショップ

河北総合センタービッグバンで4月18日、折り紙でお弁当を作るワークショップが開かれ、市内の小学生やその保護者計11人が参加しました。参加者はスタッフの手ほどきを受けつつ、折り紙でたこさんウインナーや卵焼き、エビフライ、おにぎりを作り、春の行楽に持っていきたくなるようなお弁当に仕上げていました。



雄勝

砦上の里おがつ5周年

黄金週間に合わせ感謝祭

令和3年4月にオープンした道の駅砦上の里おがつは5月3～5日、黄金週間に合わせて開業5周年の感謝祭を開きました。初日は節目を祝う石巻広域消防音楽隊の演奏や餅まきで盛り上がり、300枚限定の道の駅の特別記念切符の配布もあって多くの人でにぎわいました。期間中は海産物直売所での特別割引や子ども向けの縁日があったほか、4日には恒例の活ホヤの詰め放題があり、多くの方が限界に挑みました。



河南

豪華絢爛の山車巡行

春告げる鹿嶋ばやし

河南鹿嶋ばやし山車まつりが4月19日に広洲地区で行われました。五穀豊穡や無病息災を願って江戸時代から続く祭りで、毎年4月の第3日曜日に行われる地域の風物詩です。伝承活動を行う地元の小学生らが笛や太鼓のおはやしを響かせながら、NHK大河ドラマ「豊臣兄弟!」にちなんだ本山車をはじめ、豪華に飾り立てた3台の山車が地域を練り歩きました。



桃生

よく見て渡ろう横断歩道

桃生小で交通安全教室

桃生小学校は4月15日、河北警察署の警察官を講師に招いて「春の交通安全教室」を開きました。校庭に白線を引いて横断歩道に見立て、1・2年生が安全な渡り方を学びました。児童は右手を高く上げて車に渡りたい気持ちを合図し、歩行者用の信号が青でも周囲の安全を目でしっかり確認することを心に刻んでいました。3～6年生は交差点の通行の仕方など、自転車走行のルールを教してもらいました。

